

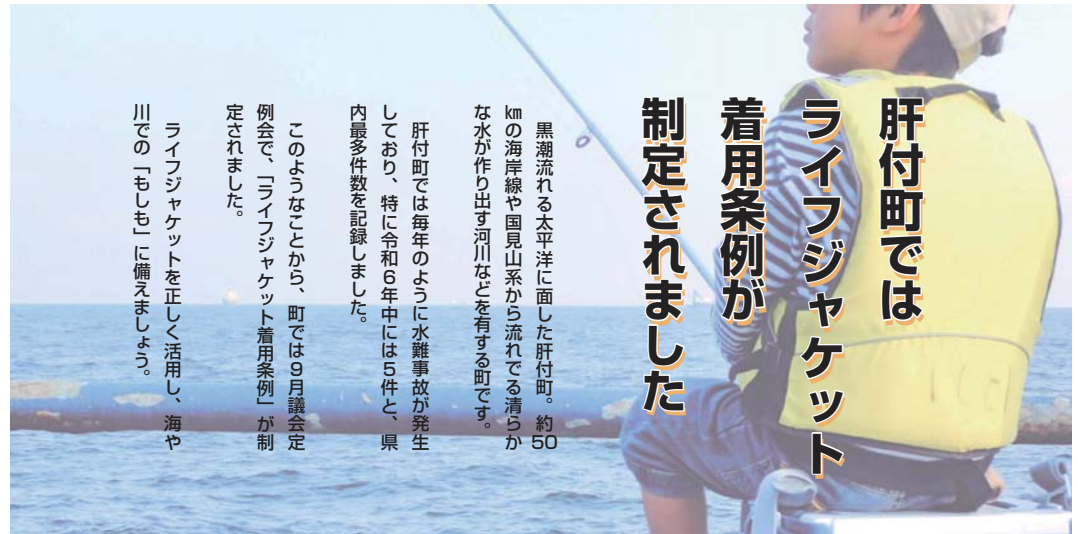
# 肝付町では ライフジャケット 着用条例が 制定されました

黒潮流れる太平洋に面した肝付町。約50kmの海岸線や国見山系から流れてる清らかな水が作り出す河川などを有する町です。

肝付町では毎年のように水難事故が発生しており、特に令和6年中には5件と、県内最多件数を記録しました。

このまっつなことから、町では9月議会で例案で、「ライフジャケット着用条例」が制定されました。

ライフジャケットを正しく活用し、海や川での「もしも」に備えましょう。



肝付町で起きた水難事故（令和6年）

発生日	活動内容	事故内容	ライフジャケット (救命胴衣)	行動形態	結果
1月22日	釣り中	海中転落	未着用	単独	死亡
2月3日	釣り中	海中転落	着用	単独	生存
3月11日	釣り中	海中転落	未着用	単独	死亡
5月11日	釣り中	海中転落	着用	複数	生存
8月8日	釣り中	海中転落	未着用	単独	死亡

【資料提供：志布志海上保安署】

令和6年中に起きた水難事故では、同じ釣り中の海中転落でも、ライフジャケットを着用している人が救助され助かったという結果が残っています。

浅くても溺れることが...

海や川のレジャーでは、流れがあったり何かの拍子でバニックになると溺れる危険性があります。これぐらいの深さなら大丈夫」と安易に考えず、不測の事態に備えてライフジャケットを着用するようにしましょう。

子どもは腰丈にも満たないような浅い場所でも溺れる危険性があります。ちょっとした水遊びでも、キッズ用ライフジャケット等を着用させるようにしましょう。

## ライフジャケットの正しい使い方

ライフジャケットには固定式や膨張式、そして小児用など様々な形があります。

次のことに注意して正しく選びましょう。

- ・自分の使用用途にあったものを選び、
- ・桜マーク（国土交通省）や第三者機関による認定マークなどが表示されている品質が確保されたものを選び、
- ・購入先から十分な説明を受ける



## 安全の輪が広がっています



12月に国見小学校で実施された「河川学習会」において、主催の二宮鉄工様より子どもたちにライフジャケットがプレゼントされました。

この日は水門見学もあったこともあり、子どもたちは実際にライフジャケットを着て授業に参加することで、水場で身を守る方法を体験していました。

ライフジャケット着用条例の制定やこれからの町の取り組みに対して、国内有数の釣具製造メーカーであるグローブライド株式会社（旧ダイワ精工株式会社）様から企業版ふるさと納税をいただきました。いただいたふるさと納税で、釣りや海・川でのレジャー全般の安全啓発をすすめ、肝付町の豊かな自然を活かした観光の発展につなげていきます。



## 小型船舶では 着用義務があります

国土交通省では、平成30年2月からすべての小型船舶の乗船者にライフジャケットの着用を義務化しました。乗船者にライフジャケットを着用させなかった船長（小型船舶操縦者）は違反点2点が加算されます。詳細は国土交通省のホームページを御覧ください。



## 大切な人を 悲しませない

ライフジャケットを着用することは、自分の命を守ることはもちろん、自分の周りの大切な人を悲しませないためにできる最初の「備え」です。

いざというときに備えて、ライフジャケットの着用を心がけましょう。

118番は、海上における事件事故に対し、迅速かつ的確に対応するための海上保安庁緊急通報用電話番号です。

聴覚や発話に障がいを持つ方を対象に、入力操作で通報が可能となる「NET 118」も運用しています。詳細はこちら▶

海のもしもは118番

お問い合わせ先 肝付町役場 町民生活課 ☎0994(67)2111